



成田 達弘 議員  
(七尾のみらいをつくる会)



一般質問

■「すくやる課」の設立について

市民に寄り添う総合窓口の創設に向けて

**質** 高齢者など、相談先が分からない市民に寄り添う総合窓口として「すくやる課」の設置を提案する。この「すくやる課」は、相談内容を丁寧に聞き取り、担当課へ同行し、必要な手続に至るまでの段取りを整える総合案内機能を担うものである。担当には、人脈と経験を備えた再任用職員が適しており、若手職員をカスマー・ハラスメントから守る効果も期待できる。まずは1年間の試行を行い、その結果を踏まえて本格運用を検討すべきと考えるが、市長の見解を伺う。

**答** 市民に対する行政サービスの提供は行政の根幹であり、窓口業務はその最前線であると認識している。職員配置については、職員の能力や経験、業績を踏まえ、適材適所に配置することが基本であり、再任用職員に限定することなく、適切に配置していく。また、市民がどこに相談すればよいか分からない場合に寄り添う総合窓口として、「すくやる課」の設置する提案については、その必要性を検討していきたい。

まずは来年度、パトリア、ミナ・クル、本庁舎入口付近に「総合案内員」を配置し、来庁者の用件を伺い、担当窓口へ誘導することで、市民の来庁時における利便性向上を図る。また、証明書のコンビニ交付や電子申請など、市役所に来なくても手続きできる仕組みの普及も重要であり、引き続き、手続きの簡素化とデジタル化を進めていく。



杉木 勉 議員  
(灘会)



一般質問

■旧中島中学校跡地のこれから

公営住宅と公園・駐車場整備、地域とともに進める復興計画

**質** 旧中島中学校跡地については、令和4年に地域団体から公園・駐車場・防災機能を含む整備要望が提出され、市は令和5年度に公園と駐車場の整備方針を示し、予算計上予定と聞いていた。しかし、令和6年1月の能登半島地震により跡地は仮設住宅地として使用され、公園計画は無期延長との説明を受けている。現在は復興公営住宅の建設が予定されているが、当初示された公園計画を今後も計画として維持する方針があるのか伺う。あわせて、復興公営住宅建設との調整を行いながら、公園整備を含め跡地全体の計画について地域と協議する考えがあるか確認したい。

**答** 旧中島中学校跡地の公園・駐車場整備方針については、地震後も市として変更協議は行っており、基本計画は引き続き存続している。ただし、現在は旧校舎側に仮設住宅、旧グラウンド側に復興公営住宅の建設が予定されており、その範囲が確定次第、地域と改めて協議し、計画内容を確認することとしている。中島地区は復興において重要なエリアであり、今後策定される地区復興計画も踏まえて進めていく方針である。

また、整備については復興公営住宅の建設に遅れないよう調整し、環境面や年次計画についても地域と相談しながら進める。駐車場不足については課題として認識しており、イベント時の混雑状況も踏まえ、可能な範囲で住宅建設と並行した整備を検討する。市内部で調整を図りつつ、地域との協議を重ねながら進める考えである。